

# 自らの生き方につながる道徳的心情を高めるための指導の工夫

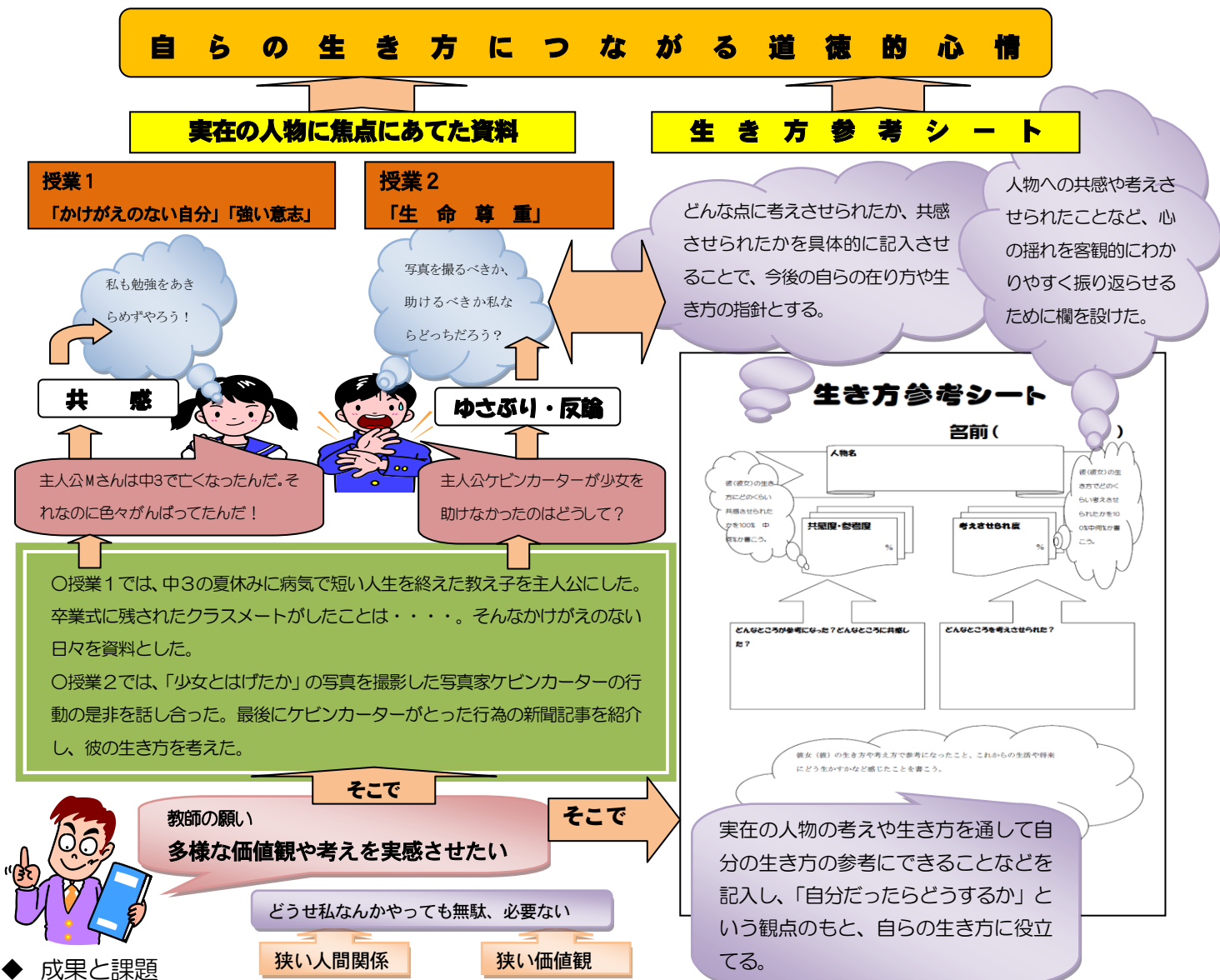
～実在の人物に焦点をあてた自作資料と生き方参考シートの活用を通じて～

道徳班 荒井 剛（中学校教諭）

## ◆ 研究の概要

本研究は、道徳の時間において自作資料と生き方参考シートを活用することを通して、強い意志やかけがえのない自分といった自らの生き方につながる道徳的心情を高める指導を研究したものである。現在、人間関係が狭くものごとを狭い視野でとらえ、「どうせ自分なんかやっても無駄。必要ない」と考える生徒が増えている。そこで本研究では多様な生き方や価値観を生徒の心に直接働きかけるため、実在の人物の生き方を資料で取り上げる。さらに、生き方参考シートを活用し、その生き方に共感・反論する中で自分はどうかあるべきかを考えることを目的とした。

## ◆ 実践内容



## ◆ 成果と課題

- ◎実在の人物に焦点をあてた自作資料の授業は、多くの生徒にとって考えさせられる内容であり、人物の生き方や考えに共感した生徒が多かった。
- ◎生き方参考シートを活用し、実在の人物の考えや生き方をもとに今後の自らの在り方や生き方の参考となる点を記述する欄を設けたが、生徒は記述する中で自分だったらどうかという観点で考えていた。
- 実在の人物に焦点をあてた自作資料は多様な価値観を内包している。だからこそ、授業者が生徒にどのような価値観や考えを深めさせたいかをよく考えて発問をしないと、生き方参考シートも効果が薄くなる。